

ケアタウン小平だより

会費納入お礼号 2023 夏・秋

認定 NPO 法人 コミュニティケアリンク東京
事務局 中川 稔進

偉大な飲みもの

「あら～、ちょっとミキさん、体に熱もってチンチンじゃない。はいっ！すぐにあれ飲もう！」「あら～ユリ先輩、足元が…（ふらふら）、はいっ、中に入っちはいって！」



猛暑続きの夏の朝、デイサービスセンター入口では錦織所長による利用者の体調確認がはじまります。歩く姿や表情を診て、体に触れて、水分摂取の状況確認は最優先事項。独居の方や適切な水分摂取が難しい方など、熱中症の1、2歩手前で来られる方も多いのです。

デイルームに入ると錦織所長特製の梅ジュースが出されます。ググググッと数杯飲み干ししゃっきりする人、ぐったりして何度か促されようやく1杯飲み干す人、様々です。梅ジュースをきっかけに、自分の家のそれはどうだったかなど思い出話に花が咲きます。

この時代、熱中症対策用の「経口補水液」が市販され、スポーツドリンクだってあります。しかし、仮に必要な栄養成分で勝ろうとも、「梅ジュース」に今はまだ敵わないでしょう。なぜならあの甘酸っぱさには、世代を越えて一人ひとりのいつかの夏がきつと閉じ込められているからです。そして何より「誰のために」が明確な手仕事だからです。



デイサービスの隠し味

こうした朝の一場面の中に、ケアタウン小平デイサービスの哲学とも言える考えが隠されています。加齢や病気によって失いつつある「生活（日常性）」をどう届けるのかということが、このデイサービスの大切な在りようの1つです。何でも工業化可能な社会の中で、介護や看護は数少なくなった手仕事です。「誰のために」という共通点が、ケアと自家製梅ジュースの効果を高め合います。

業^{わざ}の中に四季折々の「生活」をどう織り込むか、梅シロップに込められたケアの隠し味を、今夏の様子とともに、会員の皆さまにもご紹介したいと思いました。



さて、夏の甲子園、数々の熱戦、選手やアルプス席の悲喜こもごもが心を揺さぶります。今年初めて「地球沸騰化」と表現されたこの世界で、スポーツドリンクは運動をする人にとって必需品です。五感と時間、人と人、その重なりがこの飲み物にも閉じ込められている最中かもしれません。気候変動によって梅ジュースが仮に無くなっても、梅ジュース的な何かはこれからもあり続けるでしょう。でも、手仕事という点でやはり夏の梅ジュースには敵わないでしょうね。

19年目を迎えたケアタウン小平ですが、梅ジュースの偉大さに思いを馳せた夏でした。

最後になりますが、会費の納入ありがとうございます。今年度もよろしくお願いいたします。そして以下ご連絡いたします！

2019年以来、バルーンリリースが(だけは)ケアタウン小平に帰ってくる！

バルーンリリース 11月18日(土) 時間は調整中
詳細をお待ちください！ 類型変われども、我々コロナ感染対応継続中、フェスタは今年も開催見送りといたします。

